

AV MATERIAL

ニュースクリップ & 映像教材

■「2019日本ICT教育アワード」各賞決定

全国ICT教育首長協会による標記アワードが1月17日（木）開催のサミットにおいて決定した。文部科学大臣賞（滋賀県草津市）、総務大臣賞（佐賀県多久市）、サミット参加の首長の投票によるアワード（佐賀県武雄市）ほか各賞が決定し、表彰が行われた。詳細は、<https://ictmayors.jp/>を参照のこと。



文部科学省情報

■未来の学び プログラミング教育推進月間（みらプロ）実施

文部科学省、総務省、経済産業省では、2020年度からの小学校におけるプログラミング教育の実施に向けた機運醸成を目指し、2019年9月を「未来の学び プログラミング教育推進月間」（略称：みらプロ）とし、関係する取組を実施することとした。

本月間にあわせ、民間企業と連携し、「プログラミングが社会でどう活用されているか」に焦点を当てた総合的な学習の時間の指導案の配信を行うとともに、当該指導案で活用できる「スペシャル授業」（企業訪問や講師派遣）の実施、「教材提供」（プログラミング教育に関する動画の配信）を行う。詳細は、下記を参照のこと。

http://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/zyouhou/detail/1413655.htm

<問い合わせ先>文部科学省初等中等教育局情報教育・外国語教育課 情報教育振興室情報教育推進係 TEL 03-6734-2090

AV情報

■「テレビ美術の作り方 デザインのシゴト展—最新技術と匠の技で魅せるテレビ美術の世界—」

（公財）放送番組センター、テレビ朝日他主催により、標記展示会が開催されている。

<日時>平成31年2月22日（金）～4月7日（日）10：00～17：00、月曜休館。

<会場> 放送ライブラリー展示フロア（横浜市中区日本大通11 横浜情報文化センター内）

<内容> バーチャルCGをはじめとした最新技術とテレビ美術のコラボレーションによる番組の特別セット・小道具・台本・模型・パース画などを展示。

<問い合わせ先> 放送ライブラリー

TEL 045-222-2828

■ポーラ伝統文化振興財団助成先募集

（公財）ポーラ伝統文化振興財団では、日本の伝統文化の維持・向上に貢献するため標記助成先を募集している。

<対象分野> 伝統工芸技術、伝統芸能、民俗芸能および行事など、日本の無形の伝統文化財の記録や研究、保存・伝承活動において、有効な成果

が期待できる事業に対し補助的な援助を行う。
 <事業期間> 2019年4月～2020年3月までに実施するまたは着手する事業内容に対して助成。
 <助成金額> (目安) 補助的な援助を実施することを前提に1件あたり、30～200万円程度。
 <締切> 平成31年3月31日(日)当日消印有効。
 <問い合わせ先> (公財) ポーラ伝統文化振興財団事務局 TEL 03-3494-7653 (10:00～17:00※土日祝祭日除く)

研究会情報

■学校とICTフォーラム「2020へ向けて 教育の情報化における現状の課題への対策」

(一社)日本教育情報化振興会では、標記をテーマとしてフォーラムを開催する。
 <日時> 2019年4月27日(土) 12:55～17:20
 <会場> 東京コンファレンスセンター・品川5Fホール(東京都港区港南1-9-36アレア品川)
 <内容> 特別講演「主体的、対話的で深い学びの実現に向けて」「学校における働き方改革の論点と課題—中教審の審議と答申」、情報教育に関する実践発表、事例・実践報告「ICT活用と効果」等。
 <問い合わせ先> 「学校とICTフォーラム」事務局Sky(株)内 TEL 06-4807-6374

学会情報

■デジタルアーカイブ学会 第3回研究大会

デジタルアーカイブ学会では、関係者が経験と技術を交流・共有し、研究発表を行い、ネットワークを形成する場として、標記大会を開催する。
 <日時> 平成31年3月15日(金) 10:30～17:40・16日(土) 9:20～17:30
 <会場> 京都大学吉田キャンパス総合研究8号館(京都市左京区吉田本町)
 <内容> チュートリアル、基調講演、研究発表セッション、展示企業ライトニングトーク、企画セッション、ポスターセッション等。要事前申込。詳細は、下記を参照のこと。
http://digitalarchivejapan.org/kenkyutaiikai/3rd/3rd_program
 <問い合わせ先> 東京大学大学院情報学環DNP

学術電子コンテンツ研究寄付講座 デジタルアーカイブ学会事務局 TEL 03-5841-0377

コンクール情報

■第3回日本子ども映画コンクール受賞作品決定

小・中学生が制作した映像作品を対象とした(株)毎日映画社主催による標記コンクールの受賞作品が決定した。応募総数は、127本。最高賞にあたるグランプリには、愛知県の小学生が制作した「磯の小人 タマキビの秘密～エピソード3 立ち上がるタマキビ～」が選ばれた。続く準グランプリ賞など全16作品が入賞。なお、受賞作品は<https://www.japan-jfa.com/>にて視聴できる。

<問い合わせ先> 日本子ども映画コンクール事務局(株)毎日映画社内 TEL 03-3518-4112

■第15回「プリントコミュニケーションひろば」作品募集

(公財)理想教育財団では、学級通信、学年だより、学校だよりなど教職員がつくる各種通信を募集している。
 <応募資格> 小・中・高等学校、義務教育学校、中等教育学校および特別支援学校の教職員(平成31年3月末時)。

<応募作品の条件> 教職員が編集・制作し、定期的に継続して発行された通信で、平成30年4月以降に制作発行されたもの。新聞・雑誌・コンクール等で未発表のもの。児童生徒、保護者、地域社会に実際に配布したもの。学校現場の機器を使用して複数枚制作したもの等。

<賞> 最優秀賞・理想教育財団賞トロフィーと副賞1点、部門別優秀賞トロフィーと副賞4点他。
 <締切> 平成31年3月31日(日)当日消印有効。
 <問い合わせ先> (公財)理想教育財団第15回「プリントコミュニケーションひろば」作品募集係 TEL 03-3575-4313

■第35回「学習デジタル教材コンクール」作品募集

(公財)学習情報研究センターでは、標記コンクールの作品を募集している。
 <対象作品> ○教員等が作成したもの▽文字や画像、朗読(音声)、動画等を使ったわかりやすく豊かな学習を実現するデジタル教材▽映像素材提示等のためのホームページ▽モバイル端末やPC

から利用でき学習活動を支援するのに役立つWebページ▽静止画、動画（Flash動画等）、アニメ、拡大提示用素材等を集積した素材集等。／○児童生徒が作成したもの▽教員の指導のもとに児童生徒が学習活動の一環として作成した上記形態の学習者用デジタル教材。

<応募資格> ○団体（学校、教育委員会、教育センター、その他教育機関、研究グループ等、教員の指導のもとにある児童生徒）○個人（学校の教員、教育委員会、教育センターの教育関係専門職、その他教育経験者等）

<賞> 文部科学大臣賞（団体賞、個人賞、各賞金10万円）、学情研賞他。

<応募期限> 2019年5月10日（金）

<問い合わせ先>（公財）学習情報研究センター
コンクール係 TEL 03-6205-4531

各地の情報

■第3回クリエイティブ・ラーニングセンター フォーラム「高大接続におけるコミュニケーション能力の意義」

佐賀大学クリエイティブ・ラーニングセンターでは、標記をテーマとしたフォーラムを開催する。

<日時>平成31年3月19日（火）14:00～16:00

<会場>佐賀大学本庄キャンパス教養教育2号館
2101教室（佐賀県佐賀市本庄町1）

<内容>教育共同利用拠点としての活動報告、講演「高大接続におけるコミュニケーション能力教育の意義」等。なお、当日は、クリエイティブ・ラーニングセンター見学会（13:00～13:45）を開催する。事前要申込。詳細は、下記を参照のこと。
<https://www.saga-els.com/clc/>

<問い合わせ先>佐賀大学クリエイティブ・ラーニングセンター TEL 0952-28-8940

■ラーニングアナリティクス(教育データの分析) によるエビデンスに基づく教育に関する国際シ ンポジウム

日本学術会議 心理学・教育学委員会／情報学委員会合同教育データ利活用分科会では、教育・学習活動に関するデータを全国的に利活用できる仕組みを作ることが教育政策を議論する上で欠かせないものとなっていることから、教育データの利

活用やエビデンスに基づく教育実現についての標記シンポジウムを開催する。

<日時>平成31年3月22日（金）13:00～18:00

<会場>京都大学吉田キャンパス国際科学イノベーション棟5階シンポジウムホール（京都市左京区吉田本町）

<内容>基調講演「教育・学習データの重要性と将来展望」「ラーニングアナリティクスへの普及へ向けて」、パネル討論「教育データの利活用について考える」、ラーニングアナリティクス研究事例紹介等。

<問い合わせ先>京都大学学術情報メディアセンター緒方研究室 TEL 075-753-9052

■第20回記念大会「デジタル教材勉強会」

大阪私学教育情報化研究会および英語デジタル教材勉強会では、「デジタルツールを使った授業方法についての情報交換・英語授業力の向上」をテーマに勉強会を開催する。

<日時>平成31年3月23日（土）14:00～17:30

<会場>大阪ユビキタス協創広場CANVAS
(株)内田洋行（大阪府中央区南泉町2-2-2）

<内容>実践事例発表「となりの学校はデジタル教材で何してる?」、高校デジタル教材・ICT機器デモ等。

<問い合わせ先>研究会事務局 アサンプション
国際中学校高等学校 岡本教諭 TEL 072-721-3080

文部科学省選定作品

■1月選定 DVD

「高齢者福祉施設における管理栄養士～おいしい食事で笑顔を～」14分<高等学校、福祉／青年・成人、職業の知識技術(医療・福祉)>東京シネ・ビデオ（株）

「ナディアの誓い - On Her Shoulders」95分
<青年・成人、国際性(国際理解・平和)>ユニテッドピープル（株）

「こんばんはⅡ」37分<青年・成人、教養>
夜間中学校と教育を語る会『こんばんはⅡ』制作普及委員会

映像作品等選定一覧の詳細は、下記を参照のこと。
http://www.mext.go.jp/a_menu/shougai/movie/main9_a1.htm